

令和２年度 益子町立田野中学校 学校評価報告書【概要版】

教育目標	○自ら学ぶ生徒 ○思いやりのある生徒 ○進んで鍛える生徒	今年度の重点目標	生徒一人一人の夢や思いを大切にし、確かな学力、 勁さと思いやり、そして健康的で安全な学校文化の 創造を地域社会との連携・協働で目指す。 【重点ワード】 勁 確（けい かく） 「勁く（つよく） 確かに（たしかに）」	1 「授業第一主義」で、確かな学力を育むための学習指導の充実 2 豊かな心を育てる教育の充実 3 危機管理意識の高揚と基本的生活習慣の確立 4 未来展望に基づいた自主・自立の精神と勁い心身の育成 5 地域社会と連携・協働で行う教育活動の推進	達成度	・アンケート・教職員評価の肯定的意見 A・・・80%以上 B・・・60%以上80%未満 C・・・40%以上60%未満 D・・・40%未満
------	------------------------------------	----------	---	--	-----	--

学 校 自 己 評 価							学校関係者評価	令和3年度に向けた改善策
現 状 と 学 校 評 価 実 施 計 画				達 成 状 況			【全体】	【全体】「主体的・対話的・深い学び」の実現と目標をもち、粘り強くやり抜く力の育成に努める。
重点	生徒の現状と課題	評価項目（主な方策）	評価指標	アンケート		教職員評価 達成度		
				生 徒	保護者			
1	生徒個々の学力差はかなりある。家庭学習の定着度も差も大きい。しかし、どの生徒に対しても、学力の底上げは必要である。	基礎・基本の定着を図り、分かる授業を目指し、指導法の工夫・改善を図る。	生徒・保護者のアンケート結果参考にした教職員評価	A	A	A	分かる授業が展開されている。さらに基礎・基本の定着に努める。	家庭学習の方法を検討し、保護者との連携を強める。
		授業では、生徒に深く考えさせる場面を設ける。		B	B	A	主体的・対話的で、深い学びの実現に向けた取り組みの継続する。	学業指導の充実を図り、帰属意識の高い学級づくりに努める。
		生徒一人一人の家庭学習の状況を把握し、助言する。		B	B	A	取り組みに個人差があり、個別指導の充実が必要である。	道徳の授業の充実を図り、道徳的実践力を高める指導の工夫を図る。
2	小学校からの持ち上がりのため、お互いの個性を理解し、対応している。いじめはほとんどない。友人関係の固定化は否めない。	生徒がお互いの個性を尊重し、思いやりに溢れた学級・学校づくりに取り組む。		A	B	A	相手を尊重した言動を表現できるように指導する。	生徒の悩みや問題行動の解消に向けて、組織的支援の充実を図る。
		道徳の授業では、道徳的価値について、多面的・多角的に学べるように工夫する。		A	A	A	授業を通して自分の考えを広めることができた。	実践的な訓練方法と保護者への質問内容の再検討が必要である。
		生徒一人一人の気持ちに寄り添った教育支援を行う。		A	B	A	生徒理解を深め、一人一人の気持ちにより添った支援に努める。	交通安全教室・立哨指導・郊外巡視などを今後も継続して行う。
3	休まず、学校内外のルールやマナーを比較的よく守っている。生徒の校外での危機回避能力については、未知数である。	避難訓練等をとおして、生徒の危機回避能力の育成に努める。		A	D	A	生徒主体の実践的な訓練の実施を検討する。	スマホ・タブレット等の使い方についての指導を充実させる。
		安心・安全で、規律ある学校生活が送れるよう指導する。		A	A	A	今後も継続して安全に配慮して生活できるようにする。	将来の夢や希望に向かって目標を立て、実践できるように支援する。
		健康的な生活が送れるように、指導・支援する。		A	B	A	規則正しい生活の指導に留意する必要がある。	行事の企画段階より生徒に関わらせることで達成感を実感させる。
4	行事や部活動等には、主体的に粘り強く取り組む。健全な成長を意識し、給食はよく食べる。将来に対しする夢や希望が漠然としており、明確ではない。	将来の夢や希望をもたせ、キャリア教育を推進する。		A	B	A	将来の目標をもって学校生活を過ごせるように支援する。	活動に目標をもって取り組めるよう、生徒一人一人を支援する。
		学校行事、生徒会行事では、生徒が主体的に活動できるようサポートする。		A	A	A	今後も生徒会が中心となり生徒主体の学校行事が展開された。	栄養教諭と連携して食育指導を継続して取り組む。
		部活動を中心に、粘り強くやり通す勁い心身を育む。		A	A	A	今後も部活動に積極的に取り組み、充実した活動を展開する。	家庭での会話のきっかけになるよう内容を工夫する。
		食事の大切さを理解させ、自己健康管理ができるよう指導する。		A	A	A	さらに食育の指導の充実を図り、勁い体の育成に努める。	生徒会組織を生かし、活動の充実を図る。
5	農村部の地域密着型の学校であり、学校への関心は高い。生徒も地域人として生活している。	地域・保護者に対し、たよりやホームページを活用し、積極的に情報を発信する。		B	A	A	今後も積極的な情報発信に努め、地域との連携を深める。	
		ふれあい交流活動やマイチャレンジで、地域の人材や資源を活用し、地域とのつながりを大切する。		A	A	A	田野っ子いきいきプランの実践（あいさつ）が実践された。	